

事業名	富士山総合保全対策推進事業費			調書番号	13
細事業名	富士山ボランティアセンター運営費負担金	財務コード	371002		
担当部課室	県民生活 部 世界遺産富士山 課 普及企画	担当 (内線)	1095		

I 事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(富士山憲章山梨県推進会議)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>・県内外の住民 ・富士山を訪れる登山者や観光客</td> <td>事業への参加をとおして、富士山に対する環境保全意識の高揚や「富士山憲章」への理解促進が図られている状態</td> <td>富士山の恵みを後世に引き継ぐため、富士山の自然環境や景観を保護する</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	・県内外の住民 ・富士山を訪れる登山者や観光客	事業への参加をとおして、富士山に対する環境保全意識の高揚や「富士山憲章」への理解促進が図られている状態	富士山の恵みを後世に引き継ぐため、富士山の自然環境や景観を保護する
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
・県内外の住民 ・富士山を訪れる登山者や観光客	事業への参加をとおして、富士山に対する環境保全意識の高揚や「富士山憲章」への理解促進が図られている状態	富士山の恵みを後世に引き継ぐため、富士山の自然環境や景観を保護する					
内容	<p>富士山ボランティアセンターの運営費にかかる負担金の支出。</p> <p>・負担割合：運営費は県1/2、地元市町村1/2の法外負担金</p> <p>・センターが実施している主な事業等</p> <p>【環境保全意識の啓発】富士山美化啓発キャンペーン(旧富士北麓駐車場キャンペーン)、富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～、富士山環境学習支援プログラム</p> <p>【美化清掃活動等】富士山エコトレッキング、環境美化活動に取り組む者への助言やゴミ袋の無償提供、関係団体が主催する清掃活動への参加</p> <p>【情報発信】「富士山憲章ニューズレター」の発行、「富士山関連イベント情報」メールマガジンの配信</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	①富士山美化啓発キャンペーン	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
	②富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
	③富士山環境学習支援プログラム	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
	④富士山エコトレッキング※	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
	⑤ニューズレターの発行	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
	⑥メールマガジンの配信	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	目標値
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		2,392	2,392	2,392	2,392	2,392	2,392	2,392

※30年度の目標値は前年度実績値より算出、また①のみ30年度の値は実績値
※④は、中止になった回の参加予定者数も含む

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	①～④の事業について、北麓地域だけでなく、県内全域の学校や、WEBサイトを活用して、広く募集をした結果、参加者等の拡大に繋がった。また、参加者等に「富士山憲章」を記載した啓発物品を配布することにより同憲章の周知が図られた。
成果指標	b		①の啓発事業では、天候不良により観光客の減少や活動時間数の短縮を余儀なくされたため実績は減少したものの、計画通り活動ができていれば前年度とほぼ同等の成果が得られたと考えられる。また、②～④の参加者数は前年度比150%前後と増加しており、事業参加者を対象に行ったアンケート結果から、環境保全意識の向上や「富士山憲章」への理解の促進につながるなどの評価があった。以上のことから、意図した成果はほぼ上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い	
説明	<p>社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される</p> <p>事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている</p> <p>法令等により、県が実施することが義務づけられている</p> <p>県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる</p> <p>民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。</p> <p>その他 ()</p>			
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
説明	上記の事業実績をふまえ、現在の啓発事業や美化活動を今後も継続して行っていくことで、より多くの人の環境保全意識の高揚や「富士山憲章」への理解促進が期待できる。			
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
説明	<p>民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある</p> <p>業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある</p> <p>サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある</p> <p>実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある</p> <p>投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある</p> <p>その他 ()</p>			
その他	説明	メールマガジンの配信数の減少から、発信内容等を見直す余地がある。また、より多くの人の環境保全意識の高揚や「富士山憲章」への理解促進のため、啓発対象者を拡大する余地がある。		
見直しの必要性	有	より多くの県民や富士山を訪れる登山者や観光客が関心を持てる内容を配信する。また、更なる保全意識の高揚や「富士山憲章」の理解促進に向け、観光客に加えて開山中に集中する登山客に対してもより積極的な周知を行う必要がある。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	メールマガジンの内容の充実や登録者数の増加につながる対策を検討する。また、現在実施している啓発キャンペーンの時間帯は観光客が多く、開山中に増加する登山者によるものとみられるゴミの投棄対策や啓発の必要性から、多くの登山者が利用する時間帯での啓発キャンペーンの実施も検討する。
----------	----	--

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。